

2018年度J-POWERグループ環境行動指針

1. 地球環境問題への取り組み

- ① 再生可能エネルギーの拡大
 - 既設水力、地熱、風力、リサイクル発電等における安定運転の維持
 - 水力、地熱、風力発電の新規開発の推進
- ② 石炭利用の低炭素化・脱炭素化への挑戦
 - 酸素吹石炭ガス化複合発電（IGCC）の大型実証試験の推進
 - CO₂回収・貯留（CCS）技術開発の推進
 - 既設火力発電所における高効率運転の維持
 - 既設火力発電所等におけるバイオマス燃料混焼の推進
 - 既設火力発電所リプレイス計画の推進
 - 海外への高効率石炭火力発電技術の移転・普及
- ③ 安全を最優先にした大間原子力発電所計画の推進
- ④ その他
 - 省エネルギーの推進
 - オフセット・クレジット・メカニズムの活用、推進
 - CO₂以外の温室効果ガス排出抑制

2. 地域環境問題への取り組み

- ① 環境負荷物質の排出抑制
 - 排出抑制の継続
 - 機器等からの油の漏洩防止対策の強化及び適切かつ迅速な緊急時対応への準備
 - 設備の新設、改造時における高効率な環境対策設備の設計検討及び導入
 - 水銀の環境への排出の抑制
- ② 3R（廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用）の推進と廃棄物適正処理の徹底
 - 循環資源の再使用、再生利用及び廃棄物ゼロエミッションへの取り組み
 - 「J-POWERグループグリーン調達ガイドライン」に沿ったグリーン調達の取り組みの維持継続
 - 最終処分場の適正な維持管理と廃止手続きの実施
 - 水銀廃棄物の適正処理の徹底
- ③ 化学物質等の管理
 - 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）の適正な運用
 - ダイオキシン類対策
 - PCB廃棄物及びPCB使用製品の管理及び処理
 - 有害化学物質取扱量の削減に向けた取り組み
 - 石綿（アスベスト）問題への適切な対応
- ④ 自然環境の保全の取り組み
 - 事業の各段階における配慮
 - 水環境への配慮
 - 生物多様性への配慮
 - 森林の保全に向けた取り組み
- ⑤ 海外プロジェクトにおける環境保全の取り組み
 - 環境対策技術の海外移転の推進
 - 開発計画の策定、出資検討段階における適切な環境配慮及びその着実な履行
- ⑥ 環境影響評価の的確な実施

3. 透明性・信頼性への取り組み

- 1) 環境マネジメントの継続的改善（信頼性向上）
 - ① 環境マネジメントレベルの向上
 - J-POWERグループ各社における環境マネジメントシステムの継続的改善
 - 社員の環境問題に対する意識向上
 - 構内常駐業者、工事請負業者等の取引業者に対する環境に配慮した行動への協力要請
 - リスクマネジメントの強化
 - ② 法令、協定等の遵守徹底
 - 法令、協定等の確実な特定と周知、運用
 - 環境法令、協定等の遵守徹底
- 2) 社会とのコミュニケーション（透明性向上）
 - ① 環境情報の公表
 - 環境報告の実施
 - ② 環境コミュニケーションの活性化
 - 環境コミュニケーションの実施
 - 地域の環境保全活動の実施